



# コスモス



10月：神無月

No. 6

【知】 進んで学びよく考える子 【徳】 明るく思いやりのある子 【体】 たくましくねばり強い子

## 135歳の誕生日

校長 清水 励

仲秋というには暑い日々が続いておりましたが、ようやく30℃に届かない日もあり、「遅い秋」にホッとされていることと思われます。私は「好きな季節は？」と聞かれれば迷いなく「夏です！」と答えてきましたが、昨年からの35℃越えが続くような猛暑の夏では、この答えにも迷いが出てまいります。

さて、10月1日は吹上小学校の開校135年目の「開校記念日」となります。本校の年表には、明治6年（1873年）吹上村東暎寺本堂に吹上小学校開校と記されており、この年を開校とすると151年目となります。しかし、本校の開校は、明治22年（1889年）10月1日、東暎寺境内に校舎新築をした「吹上尋常小学校」の開設時としており、今年で135年目となります。

9年前、多くの方々に惜しまれながら木造2階建て校舎（昭和11年建築）から新しい校舎に建て替えられ、往年の歴史を偲ぶものはほとんど残っておりません。そんな中、学校に古くから残る貴重なものとして「二宮尊徳像」があります。この「二宮尊徳像」は、今から84年前の昭和15年（1940年）に設置され、昭和17年（1942年）に鎮魂式が行われました。1942年、日本は太平洋戦争の真ただ中にあり、これまで優勢に攻勢を続けていた日本軍がミッドウェー海戦に敗れ、戦局が大きく傾き始めた年となります。像の台座には「勤儉力行（きんけんりっこう）」の文字があり、その意味は『しっかりと働き、ぜいたくをせず一生懸命に頑張りなさい』というものです。この言葉の示すことは間違っていないと思いますが、「戦争一色」だった当時、子供たちへどのような教育が行われていたのか、今となっては反省すべき点も多くあることと思われます。



84年間、吹上小の子供たちを静かに見続けてきた「二宮尊徳像」が、「今、何を思っているか」は、知る由もありません。でも、『私たち人間が「過ち」を繰り返さぬこと』、そして、『子供たちの笑顔が絶えることのないこと』を心から願っていることは確かなことでしょう。

### 【お願い】「吹上小学校の思い出」をおよせください！

これまでの本校の卒業生は、1万3,805人になります。本校児童の御家族や「学校だより」をご覧いただいている地域在住の方々の中にも、多くの吹上小学校卒業の先輩方がいらっしゃると思います。

そんな本校卒業の方々から「吹上小学校の思い出」として、心に残っていることなどをお知らせください。

◆方法：手紙（書面）、または、スマホ等でのFormsへの投稿（400文字以内・短くても結構です）

◆内容：「昔の吹上小を知ることのできるエピソード」などと教えていただくと幸いです。

例えば「友だちとこんな遊びをしていた」「先生との思い出」「当時の授業や学校行事の様子」など

◆期日：令和6年11月30日（土）まで

◆公開：特定の個人等への配慮を考慮し、学校HPで公開させていただきます。

◆宛先等：郵送⇒〒369-0122 鴻巣市南1-10-5 吹上小学校 校長 清水 励 宛

Forms⇒<https://forms.office.com/r/ebTDzOK38D>

